リクライニング・コンサート

リクライニング席で、最高の演奏をリラックスした雰囲気で聴けるユニークな60分コンサート！

第82回　ストリングスの日

驚異の室内オケを体験！

リチャード・トネッティ（芸術監督/ヴァイオリン）

オーストラリア室内管弦楽団（ストリングス）

後援：オーストラリア大使館

2011年10月11日［火］

15:00 start（14:30 open）

19:30 start（19:00 open）

1回券　普通席 4,000円

リクライニング席　4,500円（1ドリンク付）

Hakuju Hallのオープニングを飾ったリチャード・トネッティとオーストラリア室内管弦楽団が再登場！母国オーストラリアで人間国宝に認定されたヴァイオリニスト、トネッティ率いるACO。オーストラリア唯一の国立管弦楽団にして、世界中のトップ弦楽奏者が集まる最高峰の室内オケとして、国内外から高い評価を受けています。その豊かな音楽性によって極められた、若く卓抜したテクニックをもつ優秀なメンバーによる見事なアンサンブルは圧巻。スタイリッシュな舞台衣装、指揮者なしのスタンディング演奏も必見。「奏者も観客も一緒に音楽を楽しむ」という音楽の本当の在り方が体験できます。芸術監督トネッティの豊かな音楽性によって極められた、若く卓抜したテクニックをもつ秀逸なメンバーによる見事なアンサンブルは圧巻。スタイリッシュな舞台衣装、指揮者なしのスタンディング演奏も必見です！

プログラム

◎ グリーグ：組曲「ホルベアの時代から」op.40

◎ ペルト：フラトレス

◎ ラヴェル：「2つのヘブライの歌」より　第1番　カディッシュ

◎ チャイコフスキー：弦楽セレナード　ハ長調　op.48

リチャード・トネッティ（芸術監督／ヴァイオリン）Richard Tognetti （artistic director/violin ）

1965年生まれ。シドニー音楽院でアリス・ワーテンに、故郷のウロンゴンではウィリアム・ブリムローズに、またスイスのベルン音楽院でイゴール・オジムにヴァイオリンを師事し、89年に同音楽院卒業のトップ・ソリストとしてチュミ賞を授与されている。同年オーストラリアへ帰国し、オーストラリア室内管の客演リーダーとして数公演に出演、リーダーに任命され、続いて芸術監督に就任した。指揮者として、シドニー音楽祭、ヘンデル＆ハイドン協会（ボストン）、香港フィル、カメラータ・ザルツブルク、タピオラ・シンフォニエッタ、アイルランド室内管、ノルディック室内管等に客演。また現在マリボー音楽祭（スロヴェニア）の芸術監督を務めている。2010年には「ニセコ冬の音楽祭」を立ち上げた。ソリストとしてシドニー響を含むオーストラリアの主要オーケストラや欧米の著名奏者と共演するほか、俳優ジャック・トンプソンやピーター・ギャレット、ニール・フィン、ティム・フリードマン（ホイットラムズ）、ポール・キャプシス等のヴォーカリスト、写真家ビル・ヘンソン等とのコラボレーションでも知られる。03年には映画「マスター・アンド・コマンダー」の音楽制作に携わり、劇中ヴァイオリンを演奏するラッセル・クロウの指導にも当たったほか、サウンド・トラックの演奏を担当。ＡＣＯと録音した数々のＣＤの他、近年ソロ・ヴァイオリニストとしてバッハ作品の録音に取り組み、05年、06年、07年にリリースした無伴奏ヴァイオリン・ソナタ／パルティータ集、協奏曲集、無伴奏ヴァイオリン・ソナタ集がオーストラリアで最も権威のあるＡＲＩＡアワードの「ベスト・クラシカル・アルバム」賞に３年連続で輝いた。このほかモーツァルトのコンツェルタンテ集やドヴォルザークの協奏曲もリリース。オーストラリアの３大学より名誉博士号を贈られており、99年には人間国宝に認定されている。演奏楽器は1743年製のグァルネリ・デル・ジェズ。

オーストラリア室内管弦楽団（ストリングス）Australian Chamber Orchestra(strings)

1975年、シドニーに創設される。 最高レベルの演奏で世界中の聴衆を魅了しており、オーストラリア国内の定期会員は1万人を数える。89年、オーストラリア人ヴァイオリニストのリチャード・トネッティが音楽監督兼コンサートマスターに就任、以来トネッティのリーダーシップの下、柔軟性に富み万能な“ソリスト集団”であるＡＣＯは、モダンおよび古楽器を用い、あるときは室内管弦楽団、あるときは小規模シンフォニー・オーケストラとして演奏活動を行っている。また、チェリスト以外のメンバーは立って演奏するスタイルをとることにより舞台上から発散される活気や個性といった感覚がＡＣＯのコンサートをより印象付ける結果へと導いている。これまでに40回以上に及ぶ海外公演を行い、アムステルダムのコンセルトヘボウ、ロンドンのウィグモアホール、ウィーンの楽友協会、ニューヨークのカーネギーホールおよびリンカーンセンター、ワシントンのケネディーセンター、東京のサントリーホールを含む、ヨーロッパ、合衆国、南米、アジア諸国の主要ホールに出演、高い評価を獲得している。録音にも意欲的で、ＡＢＣクラシックス、チャンネル・クラシックス、ソニー、シャンドス、オルフェオ、ＥＭＩといったレーベルから多数のＣＤをリリース、現在はＢＩＳと契約を結んでいる。オフィシャルホームページ：http://www.aco.com.au/